

【第1学年】

【授業外の学び】

- 学びのパスポートの実施（休み時間等）
- 計算タイムアタック・言語習熟プリントの実施（朝学習）

【課題分析】

- 知識・技能が定着していない児童がいる。
- 学習の習慣が身に付いていない児童がいる。
- 自分の考えを適切に表現することができない児童がいる。
- 他者と話し合い、考えを深めることができない児童がいる。

【進捗状況】

- ・五十音の表（ひらがな・かたかな）や言語知識を問う小テストを定期的に行い、定着してきた。
- ・グループ活動を取り入れることで、他者に自分のことを分かってもらう意欲が出てきた児童がいる。

【教材との出会いの工夫】

- ・学習内容に関連する写真や動画などで興味を引き出す。
- ・自分の体験や身近なものに関連付けすることで、学習の見通しをもたせる。

【教師の言葉がけの工夫】

- ・自分の言葉で発言したり文章で表現できた児童を称賛する。どういう点でよかったかをみんなで考えさせる。

【日常的な取組の工夫】

- ・1週間に2回、言語事項や漢字、計算の反復練習・ミニテストを行い、年間を通じて学力の定着を図る。

《指導の個別化》

個別最適な学び

国語

- ・表現活動における条件の選択（字数、時間等の制限、伝える相手など）
- ・教材を読み取る視点の選択

生活

- ・観察活動時における、調べ活動の充実（タブレットや本の利用）
- ・児童の興味、関心に合わせた課題の設定

算数

- ・学力向上支援講師と連携した個別指導の実施
- ・習熟に合わせたワークシートや適用問題の準備
- ・自分なりの解決方法で追究できる課題の提示

体育

- ・自分のめあての達成に向けた練習方法の選択

音楽

- ・自分のめあての達成に向けた練習方法の提示
- ・曲を鑑賞する視点の選択

図工

- ・出来てきた色、形からイメージを広げられる場の設定

《学習の個性化》

【単元末、既習事項を活用した新たな課題や表現活動の設定】

国語：「こんなことがあったよ」

夏休みにあったことを思い出し、絵日記に書く。

算数：「かたちづくり」

図形の特徴を捉えたり、色々な形を構成・分解したりして表現する。

生活：「きせつとなかよし（秋）」

木の実や葉を使っておもちゃを作り、友達と楽しむ。

図工：「うずまきアート」

絵の具でうずまきを描く活動から、つくりたいことを見つけて自分なりに表現する。

音楽：「ねこのなきごえであそぼう」（音楽づくり）

声での音遊びを通して様々な発想を得たり、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくったりする。

【生活科】

- ・児童の興味、関心に応じた課題を設定し、学習を深めたり広げたりしていく。

対話の技能の習得

- ・話し手
- ・聞き手

協働的な学び

（全教科の共通指導）

ICTの活用

【思考を深めさせるための手だて】

- ・ハンドサイン
- ・振り返りの場の設定
- ・少人数で話し合う
- ・多様な意見の尊重と活用
- ・雰囲気づくり

【第2学年】

【授業外の学び】

- 学びのパスポートの実施（朝学習、休み時間等）
- 学級間を超えた大縄遊びやボール遊び、鉄棒遊びの実施（休み時間）

【課題分析】

- 知識・技能や学習の習慣が定着していない児童がいる。
- すすんで体を動かさない児童がいる。
- 自分の考えを適切に表現することができない児童がいる。
- 他者と話し合い、考えを深めることができない児童がいる。

【進捗状況】

- ・具体物を操作して量感を養い、学習を充実させる。
- ・児童の理解・技能度に応じた問題や課題を用意することで、それぞれが成長を感じられるようにしている。

【教材との出会いの工夫】

- ・児童の生活と関連した問題場面を設定する。

【教師の言葉がけの工夫】

- ・発言したことや、友達との話し合いで考えが深まったことについて価値づける声掛けをする。

【日常的な取組の工夫】

- ・動きのある活動を入れ、集中力を持続させる。
- ・友達に自分の意見を伝える時間を必ずつくる。

《指導の個別化》

個別最適な学び

国語

- ・文章を書く活動の際、具体的な例文の提示
- ・取り組む課題数の選択

生活

- ・観察活動時における、調べ活動の充実（タブレットや本の利用）
- ・児童の興味、関心に合わせた課題の設定

算数

- ・学力向上支援講師と連携した個別指導の実施
- ・自分なりの解決方法で追究できる課題の提示
- ・取り組む課題数の選択

体育

- ・自分のめあての達成に向けた練習方法の選択

音楽

- ・自分のめあての達成に向けた練習方法の提示
- ・曲を鑑賞する視点の選択

図工

- ・できてきた色、形からイメージを広げられる場の設定

《学習の個性化》

【単元末、既習事項を活用した新たな課題や表現活動の設定】

国語：「あったらいいな、こんなもの」

自分にとってあったらいいなと思うものの絵を描き、友達と質問し合うことで、その道具の特徴を詳しくまとめる。

算数：「どんな計算になるのかな？」

絵を見て、足し算や引き算の問題を作る。

図工：「スパイダーネット」

ローラーとマスキングテープで描く活動から、つくりたいことを見つけて自分なりに表現する。

音楽：「おまつりの音楽をつくろう」（音楽づくり）

和太鼓を使って、一人一人がつくったリズムをつなげたり重ねたりして、発表し合う。

【生活科】

- ・児童の興味、関心に合った課題を設定し、学習を深めたり広げたりしていく。

対話の技能の習得

- ・話し手
- ・聞き手

協働的な学び

（全教科の共通指導）

ICTの活用

【思考を深めさせるための手だて】

- ・ハンドサイン
- ・振り返りの場の設定
- ・少人数で話し合う
- ・多様な意見の尊重と活用
- ・雰囲気づくり

【第3学年】

【授業外の学び】

- 学びのパスポートの実施（朝学習・休み時間等）
- 読み聞かせ（朝学習）

【課題分析】

- 知識・技能が定着していない児童が多い。(国語)
- 思考・判断・表現力が身に付いていない児童が多い。(算数)
- 自分の考えを適切に表現することができない児童がいる。
- 他者と話し合い、考えを深めることができない児童がいる。

【進捗状況】

- ・間違えたところは必ず直すことを徹底し、知識・技能の定着へ繋げている。
- ・友達の考えを参考にしながら、自分の考えを表現できる児童が増えてきた。

【教材との出会いの工夫】

- ・身近なものに関連させたり、クイズ等でわくわく感を演出したりし、課題意識や学習意欲に繋げる。

【教師の言葉がけの工夫】

- ・「よさ」に目を向けた言葉がけを行い、児童の努力や成長を価値付ける。

【日常的な取組の工夫】

- ・グループ学習を積極的に取り入れ、様々な考えに触れる機会を増やす。

《指導の個別化》

個別最適な学び

国語

- ・表現活動における条件の選択（字数、時間等の制限、伝える相手など）
- ・教材を読み取る視点の選択

算数

- ・算数専科や学力向上支援講師と連携した習熟度別指導の実施
- ・習熟に合わせたワークシートや適用問題の準備
- ・自分なりの解決方法で追究できる課題の提示

音楽

- ・自分のめあての達成に向けた練習方法の提示
- ・曲を鑑賞する視点の選択

理科

- ・多様な問いを立てやすい学習問題の設定
- ・観察、実験計画の立案や選択

社会

- ・多様な問いを立てやすい学習問題の設定
- ・調べる活動における調査方法の選択

体育

- ・自分のめあての達成に向けた練習方法の選択

図工

- ・色や形から自分なりのイメージを広げる場の設定

《学習の個性化》

【単元末、既習事項を活用した新たな課題や表現活動の設定】

- 国語：「もっと知りたい、友だちのこと」
日常生活の中から話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶ。
- 算数：「□を使って場面を式に表そう」
問題場面を捉え、□が何を表しているのかを考え、式にしたがって話をつくる。
- 理科：「物の重さ」
物の性質について、相違点や共通点を基に問題を見だし、話し合う。
- 社会：「まちの人々の仕事」
お店の工夫など、学習を通して分かったことや考えたことを新聞にまとめ、発表する。
- 図工：「ポンドアート」
ポンドやクレヨンをぬりつぶす活動から、つくりたいことを見つけて表現する。
- 音楽：「音のひびきや組み合わせを楽しもう」（音楽づくり）
木・金属・皮など、材質がもつ音の響きや特徴に気付きながら、即興的に表現し聴き合う。

【総合的な学習の時間】

- ・児童の興味、関心に応じた課題を設定し、学習を深めたり広げたりしていく。

対話の技能の習得

- ・話し手
- ・聞き手

協働的な学び

(全教科の共通指導)

ICTの活用

- 意見交流場面・グループ活動

【思考を深めさせるための手だて】

- ・多様な意見の尊重と活用
- ・雰囲気づくり
- ・思考ツールの活用
- ・振り返りの場の設定
- ・ジグソー学習の実施

【第4学年】

【授業外の学び】

- 学びのパスポートの実施（休み時間等）
- 復習プリント（宿題等）

【課題分析】

- 知識・技能が定着していない児童が多い。
- 学習の習慣が身に付いていない児童が多い。
- 自分の考えを適切に表現することができない児童がいる。
- 他者と話し合い、考えを深めることができない児童がいる。

【進捗状況】

- ・習熟度別指導(算数)の実施により、成果が感じられる。
- ・体の諸感覚を使った学びを充実させていく。

【教材との出会いの工夫】

- ・実生活と関連した教材の提示
- ・ICTを活用した視覚・聴覚に訴える教材の提示

【教師の言葉がけの工夫】

- ・瞬間的な賞賛
- ・理由を考えさせる問いかけ
- ・失敗・誤答のフォロー

【日常的な取組の工夫】

- ・学習の流れのルーティン化
- ・個別指導の時間の確保

《指導の個別化》

個別最適な学び

国語

- ・表現活動における条件の選択
(字数、時間等の制限、伝える相手など)
- ・教材を読み取る視点の選択

算数

- ・算数専科と連携した習熟度別指導の実施
- ・習熟に合わせたワークシートや適用問題の準備
- ・自分なりの解決方法で追究できる課題の提示

音楽

- ・自分のめあての達成に向けた練習方法の選択
- ・曲を鑑賞する視点の選択

理科

- ・多様な問いを立てやすい学習問題の設定
- ・観察、実験計画の立案や選択

社会

- ・多様な問いを立てやすい学習問題の設定
- ・調べる活動における調査方法の選択

体育

- ・自分のめあての達成に向けた練習方法の選択

図工

- ・色や形から自分なりのイメージを広げる場の設定

《学習の個性化》

【単元末、既習事項を活用した新たな課題や表現活動の設定】

- 国語：「中心となる語や文を見つけて要約し、調べたことを書こう」
自分で調べたい伝統工芸を決めて調べ、説明文の学習で学んだことを生かして表現する。
- 算数：「4年の復習」
学習内容を振り返りながら自分たちで問題をつくり、互いに解き合う。
- 理科：「電流のはたらき」「とじこめた空気や水」
学習した電流のはたらき、空気や水の性質を利用して、おもちゃを作る。
- 社会：「水害からくらしを守る」
学習したことを基にして、他地域や他の災害における対策について調べ、発表し合う。
- 図工：「モダンなクッキング」
モダンテクニックからどんな料理に変身できるかイメージを広げ表現する。
- 音楽：「音階をもとにして音楽をつくろう」（音楽づくり）
沖縄の音階を基にして、グループで音楽をつくり、発表し合う。

【総合的な学習の時間】

- ・児童の興味、関心に応じた課題を設定し、学習を深めたり広げたりしていく。

対話の技能の習得

- ・話し手
- ・聞き手

協働的な学び

(全教科の共通指導)

ICTの活用

- 意見交流場面・グループ活動

【思考を深めさせるための手だて】

- ・多様な意見の尊重と活用
- ・雰囲気づくり
- ・思考ツールの活用
- ・振り返りの場の設定
- ・ジグソー学習の実施

【第5学年】

【授業外の学び】

- 学びのパスポートの実施（朝学習・休み時間等）
- 家庭学習の充実

【課題分析】

- 知識・技能が定着していない児童が多い。
- 学習の習慣が身に付いていない児童がいる。
- 自分の考えを適切に表現することができない児童がいる。
- 他者と話し合い、考えを深めることができない児童がいる。

【進捗状況】

- ・習熟度別指導(算数)の実施により、成果が感じられる。
- ・体の諸感覚を使った学びを充実させていく。

【教材との出会いの工夫】

- ・学習内容を身近なものとしてとらえ、疑問をもち、学ぶ必要性が感じられるような資料・学習材等の選定

【教師の言葉がけの工夫】

- ・学びが深まる発言、行動等を取り上げ、価値付ける。

【日常的な取組の工夫】

- ・基本的な学習内容の定期的な復習
- ・自分の考えを様々な方法で表出し、意見を交流する場の設定

《指導の個別化》

個別最適な学び

国語

- ・表現活動における条件の選択（字数、時間等の制限、伝える相手など）
- ・教材を読み取る視点の選択

算数

- ・算数専科と連携した習熟度別指導の実施
- ・習熟に合わせたワークシートや適用問題の準備
- ・自分なりの解決方法で追究できる課題の提示

音楽

- ・自分のめあての達成に向けた練習方法の立案
- ・曲を鑑賞する視点の選択

理科

- ・多様な問いを立てやすい学習問題の設定
- ・観察、実験計画の立案や選択

社会

- ・多様な問いを立てやすい学習問題の設定
- ・調べる活動における調査方法の選択

体育

- ・自分のめあての達成に向けた練習方法の選択

図工

- ・いろいろな材料や用具からつくりたいもの、表したいことを広げて選択できる場の設定

《学習の個性化》

【単元末、既習事項を活用した新たな課題や表現活動の設定】

- 国語：「大造じいさんとガン」
推薦文の書き方を生かして、物語の表現の魅力について説明する。
- 社会：「自動車の生産にはげむ人々」
学習してきたことを基に、これからの自動車生産について考えたことをまとめ、表現する。
- 算数：「割合」「帯グラフと円グラフ」
様々な資料のデータから情報を読み取ったり、判断したりして交流する。
- 理科：「台風と防災」
実際に進路を予想したり、自分の家や地域の備えについて話し合ったりする。
- 図工：「私のお店」
電動糸のこぎりなどで出来る曲線や細かな形からイメージを広げて表現する。
- 音楽：「〈ずれ〉の音楽を楽しもう」（音楽づくり）
2人の演奏者が時間をずらして演奏する音楽をつくり、発表し合う。

【総合的な学習の時間】

- ・児童の興味、関心に応じた課題を設定し、学習を深めたり広げたりしていく。

対話の技能の習得

- ・話し手
- ・聞き手

協働的な学び

（全教科の共通指導）

ICTの活用

【思考を深めさせるための手だて】

- ・思考ツールの活用
- ・沈黙の時間の設定
- ・振り返りの場の設定
- ・ジグソー学習の実施
- ・多様な意見の尊重と活用
- ・雰囲気づくり

【第6学年】

【授業外の学び】

- 学びのパスポートの実施（休み時間等）
- 家庭学習及び学習習慣の定着（宿題等）

【課題分析】

- 知識・技能が定着していない児童が多い。
- 自分の考えを適切に表現することができない児童がいる。
- 既習事項を活用して、課題解決に向かうことが難しい。
- 他者と話し合い、考えを深める機会を増やすことが必要。

【進捗状況】

- ・習熟度別指導(算数)の実施や個別的な指導により、成果が感じられる。
- ・児童同士の交流を増やすことで、知識の定着や多様な見方・考え方に触れることができるようになってきている。

【教材との出会いの工夫】

- ・実態に合った教材の選定
(これならできそうという安心感をもたせる)

【教師の言葉がけの工夫】

- ・できたことに対する称賛の言葉のシャワー
- ・問いをもたせる発問

【日常的な取組の工夫】

- ・授業開始時に既習問題に取り組む時間を設定する。(算数)

《指導の個別化》

個別最適な学び

国語

- ・表現活動における条件の選択
(字数、時間等の制限、伝える相手の設定など)
- ・教材を読み取る視点の選択

算数

- ・算数専科と連携した習熟度別指導の実施
- ・習熟に合わせたワークシートや適用問題の準備
- ・自分なりの解決方法で追究できる課題の提示

音楽

- ・自分のめあての達成に向けた練習方法の立案
- ・曲を鑑賞する視点の選択

理科

- ・多様な問いを立てやすい学習問題の設定
- ・観察、実験計画の立案や選択

社会

- ・多様な問いを立てやすい学習問題の設定
- ・調べる活動における調査方法の選択

体育

- ・自分のめあての達成に向けた練習方法の選択

図工

- ・自分の感覚や表現方法での様々な材料や用具の選択

《学習の個性化》

【単元末、既習事項を活用した新たな課題や表現活動の設定】

- 国語：「デジタル機器と私たち」
デジタル機器の付き合い方について自分たちにできることはないか考え、提案文を書く。
- 算数：「データの調べ方」
統計的な問題解決の方法について理解し、データのよいところを生かした表を作る。
- 理科：「電気と私たちの暮らし」
電気の性質や動きを生かして目的に応じたプログラムを作り、動作を確かめる。
- 社会：「世界の中の日本」
身の回り品や資料を基に、自分なりの根拠をもち、日本と繋がり深い国を調べまとめる。
- 図工：「わたし」「オブジェ時計」
今までの材料や用具の経験を活用して、自分なりのやり方で表現を楽しむ。
- 音楽：「役割を決めて音階をもとにした音楽をつくろう」（音楽づくり）
異なる役割のパートを重ね、即興的に旋律が呼びかけ合う音楽をつくり、発表し合う。

【総合的な学習の時間】

- ・児童の興味や関心、できることに応じた課題を設定し、学習を深めたり広げたりしていく。

対話の技能の習得

- ・話し手
- ・聞き手

協働的な学び

(全教科の共通指導)

ICTの活用

【思考を深めさせるための手立て】

- ・思考ツールの活用
- ・沈黙の時間の設定
- ・振り返りの場の設定
- ・ジグソー学習の実施
- ・多様な意見の尊重と活用
- ・雰囲気づくり